

随意契約（相手方指定）調書

件名	都市計画道路補助第331号線2工区擁壁外整備工事	No.5100199
工（納）期	令和 8年 3月27日	
契約締結日	令和 7年 3月18日	
契約金額	237,395,400円（消費税込み）	

契約相手方	三軌建設株式会社東京本社 (法人番号：2290001013326)
相手方指定理由	別紙に記載のとおり。
備考	

業者選定理由書

件 名	都市計画道路補助第331号線2工区擁壁外整備工事
指名業者 (案)	名 称 三軌建設株式会社東京本社 所在地 東京都中野区中野二丁目14番17号 代表者 常務取締役本社長 今村 正純
特命理由	本件は、都市計画道路補助第331号線2工区において、鉄道高架橋の下をアンダーパス化するため、擁壁等の整備を行う工事である。 本件は、鉄道の線路に近接する箇所が施工範囲となり、高い技術力が求められることから、確実な履行を担保するために鉄道近接工事の実績を参加要件に設定し、令和6年5月に制限付き一般競争入札を実施したが、申込のあった1社が予定価格超過で応札したため不調となった。 主管課からは、予定価格の見直しや業者へのヒアリング実施後、再度の契約締結請求にあたり、部の機種・業者選定委員会の了承を得たうえで、上記業者を契約の相手方としたい旨の依頼があった。 経理課として検討したところ、 ①本件は、複数の鉄道と近接する工事であるため、工事の影響により鉄道の軌道変位等が発生する恐れがある。特につくばエクスプレス線（以下、「TX線」）についてはトンネル構造物の直上を掘削するため、工事の影響を受ける可能性が高い。実際に軌道変位等があった場合には、迅速かつ安全に対応する必要があるため、TX線における工事、軌道保守点検等の実績があり、変位管理を的確に実施できる事業者が望ましい。 ②上記業者は、TX線において、本工事場所を含むエリア（八潮～秋葉原間）の軌道保守点検を行っている唯一の事業者であり、軌道保守点検を通じ、本工事の現場の状況を最も把握している事業者である。また、上記業者はJR九州のグループ会社として、鉄道工事、鉄道近接工事の十分な実績を有しており、本工事においても確実な履行が期待できることに加え、これまでの施工協議の実績から、鉄道会社との協議を円滑に進めることができる。 ③さらに、上記業者は、JR線、東京メトロ線の鉄道工事の実績もあるため、万が一、TX線以外に軌道変位等があった場合にも、迅速かつ安全に対応が可能である。 以上のことから、上記業者を相手方に指定した随意契約を締結する。
その他 特記事項	○根拠規定：地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 （性質又は目的が競争入札に適さないもの）